

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 3月2日

事業所名 トーマス・ジュニア四街道教室

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	7			フロア中央を開け、ス ペースを確保していま す	利用者数が多い日は少し狭く 感じられると思います
	②	職員の配置数は適切である	6	1		国の基準以上に配置 しています	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	5	2		1Fにあり、出入口や トイレ等もフラットです	手すり等は特に設置されていま せん
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	5	2		サイクルを用いて業務 の改善・効率化に努め ています	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把 握し、業務改善につなげている	6	1		自己評価表アンケート の他、面談や送迎時 等にお聞きしています	スタッフ間で情報を共有し業務改 善につなげていきます
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6	1			社のHPで公開しています
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	2	3	2		現在、第三者評価は行っていま せん
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	7			県や市・社内研修等 に参加し、伝達研修 も行っていきます	
適切 な支 援の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	7			スタッフ間でカンファレ ンス等を行いながら計画 作成につなげています	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	6	1		県作成のアセスメント を使用しています	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		スタッフ全員で活動の 立案を行っています	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5	2		スタッフによる立案で内 容を更新しています	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	5	2			時間に応じた支援内容を検討し ていきます
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計 画を作成している	5	2			集団活動が主にはなっているため、 個別活動の充実を目指してい きます
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	7			始業時・送迎前に打 ち合わせを行い、情報 の共有・確認を行って います	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	6	1		送迎後に当日の情報 共有を行い、翌日の 打ち合わせ時にも振り 返りを行っています	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2		利用毎にサービス提供 記録をつけ、確認して います	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	7			基本的に6か月に1回 実施しています	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	6	1			地域交流については十分に行えて いません
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	7			管理者や児童発達支 援管理責任者が参加 しています	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	4	3		連携は図っていますが、 学校により対応が 異なるため連携に差が 出ている状況です	今後とも学校との連携を意識した 働きかけを行っていきます
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る	2	4	1		現在、医療的ケアを必要とするお 子様の登録がありません
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等の 間で情報共有と相互理解に努めている	4	3		連携は図っていますが、 関係機関により対 応が異なるため連携に 差が出ている状況です	今後とも関係機関との連携を意 識した働きかけを行っていきます
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する場 合、それまでの支援内容等の情報を提供する 等している	2	3	2		現在、高校生の利用者がおらず 情報提供の機会がない状態です
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	5	2		各種研修に参加して います	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	3	4		公園での活動時に地 域の子どもと遊ぶ機会 があります	児童館等、機関としての交流は 特に行われていません
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	4	3		参加し情報収集に努 めています	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	7			送迎時や面談の際に お話をして理解に努め ています	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	3	4			相談をいただいた際には対応して います
保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	7			契約・面談時等に説 明しています	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		相談をいただいた際 には対応しています	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	6	1		保護者会を開催して います	周知や内容などを工夫すること で、より参加しやすくなるよう工夫 していきます

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			連絡体制等を整備し、仁愛対応できる体制を整えています	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			通信を作成し保護者に配布しています	
	③⑤	個人情報に十分注意している	7			カギ付きの棚に保管し、スタッフにも留意するよう指導しています	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			必要に応じ絵カード等も使用します	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	3		地域の方を招待しての行事は行われていません
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2		マニュアルは策定しスタッフには周知しています	保護者への周知は行えていません
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		年2回ビル全体の訓練があり、お子様も参加しています	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			県や関係機関の研修に参加、2か月ごとに社内研修も行っています	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			契約や面談時に説明し、必要に応じて計画への記載も行っています	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3		医師の指示書はありませんが、保護者からの情報で対応しています	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			事例を記録しスタッフが確認するようにしています	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。